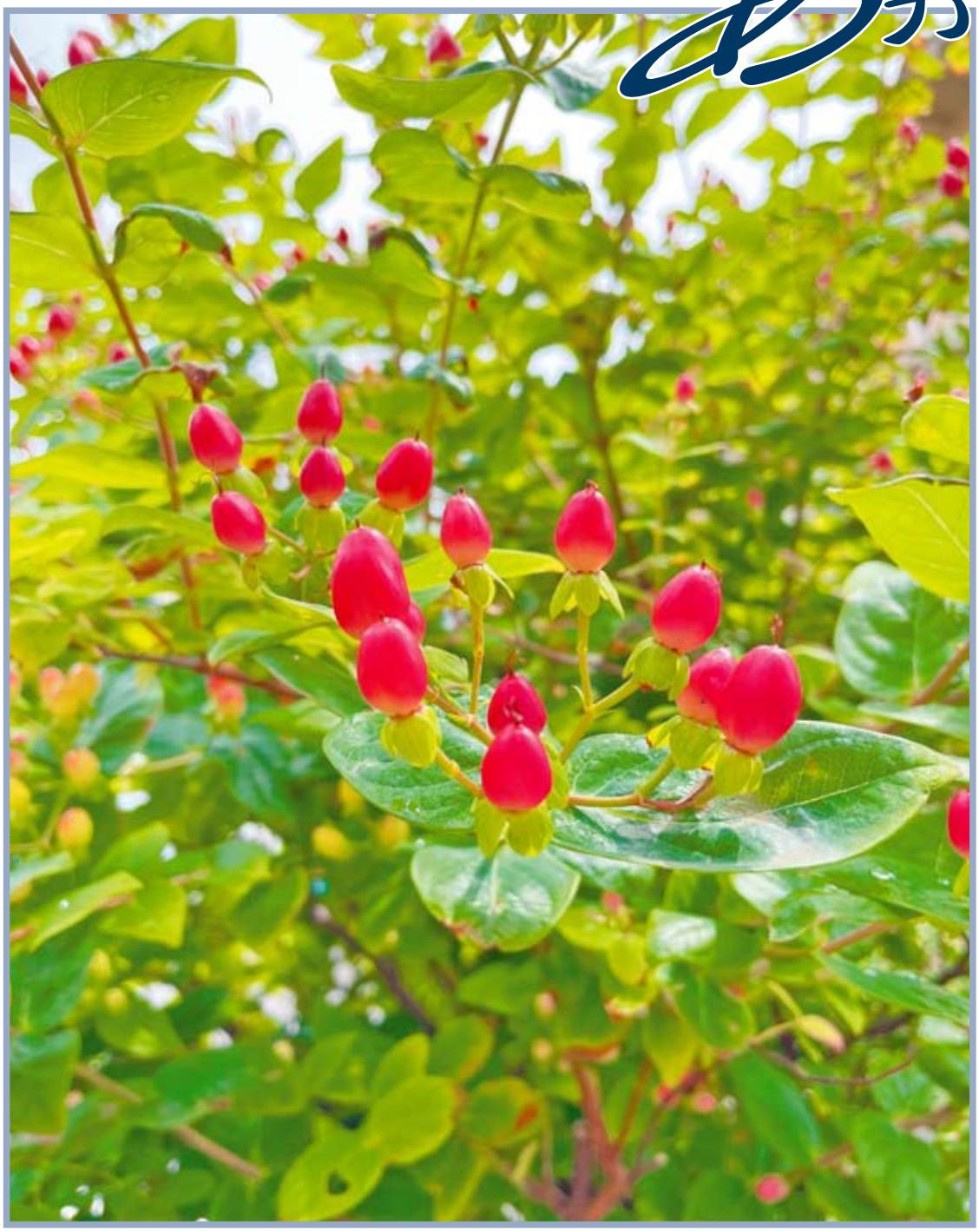
AKATUKI

# NEWS PAPER

社会福祉法人　あかつきコロニー

2022.9.11　No.83

# あかつき



写真：ヒペリカム（撮影　E.M）

## スポット

・令和４年度事業計画
・令和３年度事業報告
・虐待防止と身体拘束の取り組みについて
・新人紹介

第83号　二〇二二年九月十一日発行
発行／編集　社会福祉法人 あかつきコロニー
〒二〇八－〇〇二三 東京都武蔵村山市伊奈平一－六四－一
☎〇四二－五六〇－七八四〇
http://www.akatuki.or.jp　Email:soumu@akatuki.or.jp

就労移行支援・就労定着支援セルプあかつき　就労継続支援Ｂ型あかつき授産所　就労継続支援Ｂ型スペース・まどか　就労継続支援Ｂ型瑞穂町福祉作業所さくら　瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみ　武蔵村山市障害者就労支援センターとらい　瑞穂町障害者就労支援センター　指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業あかつきコロニー相談支援センター

# 令和４年度事業計画

## 【はじめに】

世界的な新型コロナウイルス感染拡大から2年が経過した。ワクチン接種も進められているがコロナ収束の決定打とはならず、感染リスクにより事業所運営にも影響が出ている。引き続き、職員、利用者あわせ体調管理に留意し、継続してサービス提供ができるよう感染防止対策に努めていく。一方で、いつ何処から感染が広がってもおかしくない状況であり、感染者発生時には迅速かつ適切な対応を行っていく。

## 【福祉事業活動】

法人経営の改善に向け、利用率の向上を目指した対策を講じるとともに、課題の洗い出しと今後の対応について早急に取り組む。

法人施設の建て替えに向け、事業の見直しも含めた具体的な構想を進める。

利用者支援の質の向上と業務の効率化のために支援システムを導入する。

職員の資質向上の取り組みとして、人事考課を通して職員のキャリアアップを図れるようにする。新人職員への教育・支援体制を整え職場定着を図ると共に次世代の管理職職員の育成を進める。研修委員会が中心となり内部研修を実施する。

利用者が安心して利用できる施設を目指す。虐待防止マネジャーが中心となり、虐待の予防と虐待を見逃さない体制を浸透させていく。虐待防止マネジャー会議及び虐待防止委員会を開催する。

法人のＢＣＰマニュアルの見直しと策定を行い、現状に即した実効性のある計画に改定する。

## 【就労支援事業活動】

印刷事業の縮小を進めていく一方で、前年度より準備を進めている新規事業の稼働に向け営業活動を行う。どの作業も取引先からの信用・信頼を失わない様、丁寧で確実な仕事を心掛けていく。また、施設外就労や武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業は一般就労の訓練として有効な事業となっており、利用者のスキル向上と一般就労への更なる意欲に繋がるよう、取り組みを続ける。

就労継続支援Ｂ型における目標平均工賃をあかつき授産所２６、０００円、スペース・まどか１５、０００円、瑞穂町福祉作業所１８、０００円とする。

工賃向上を目指していく上での事業の見直しによる利益増の取り組みや作業量の確保は勿論のこと、利用者のやりがいや意欲を支えることも重要である。利用者の可能性を引き出し伸ばしていく事も重要な支援のひとつであり、その視点と工夫を以て職員は就労支援事業に取り組む。

## 【地域生活】

瑞穂町福祉作業所は、作業以外の社会参加の機会として、利用者の生活拠点となる地域社会との繋がりも大切にし、地域交流事業へも積極的に参加していく。

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみの障害児等タイムケアでは、様々な体験を通した個々の成長を支援するため、提供するプログラムの見直しをすすめる。また、同じく重度障がい者支援を行う地域活動支援センターでは、個別支援計画の目標に応じ様々な活動や体験の機会を提供し、必要な介助支援を実施する。

あかつきコロニー相談支援センターでは、サービス利用を必要としている利用者の地域生活の支援に向け、ニーズの把握と課題を整理し、適切なサービスに繋げていく。

武蔵村山市及び瑞穂町より受託している障害者就労支援センターでは、登録者の就労ニーズに合わせ必要な支援を行う。就職実績を重ねると同時に、課題となっている就労定着に力を入れる。

## 【地域福祉】

地域の障がい者福祉の向上に尽力していく。自立支援協議会や障害支援区分審査会への委員派遣を継続するとともに、自立支援協議会の各部会にも積極的に関わっていく。他にも地域の関係団体等と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の障がい者・児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。

また、地域貢献事業として、地域子供交流会を実施する他、瑞穂町に於いては社会福祉協議会と連携し、相談支援の窓口を開設していく。

# 令和４年度あかつきコロニー予算書

（自）令和４年４月１日　（至）令和５年３月31日

法人全体　（単位：千円）

| 勘定科目 | | | 本年度予算 | 前年度予算 | 差異 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 就労支援事業収入 | 75,140 | 83,140 | △ 8,000 |
| | | 障害福祉サービス等事業収入 | 335,434 | 323,591 | 11,843 |
| | | 生活保護事業収入 | 400 | 334 | 66 |
| | | その他の事業収入 | 240 | 0 | 240 |
| | | 借入金利息補助金収入 | 10 | 16 | △ 6 |
| | | 経常経費寄附金収入 | 260 | 330 | △ 70 |
| | | 受取利息配当金収入 | 15 | 58 | △ 43 |
| | | その他の収入 | 740 | 460 | 280 |
| | | 事業活動収入計（１） | 412,239 | 407,929 | 4,310 |
| | 支出 | 人件費支出 | 278,022 | 269,419 | 8,603 |
| | | 事業費支出 | 31,102 | 34,983 | △ 3,881 |
| | | 事務費支出 | 26,470 | 30,266 | △ 3,796 |
| | | 就労支援事業支出 | 75,140 | 77,862 | △ 2,722 |
| | | 支払利息支出 | 13 | 19 | △ 6 |
| | | その他の支出 | 100 | 100 | 0 |
| | | 事業活動支出計（２） | 410,847 | 412,649 | △ 1,802 |
| | 事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２） | | 1,392 | △ 4,720 | 6,112 |
| 施設整備等による収支 | 収入 | 施設整備等補助金収入 | 0 | 0 | 0 |
| | | 設備資金借入金収入 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の施設整備等による収入 | 0 | 0 | 0 |
| | | 施設整備等収入計（４） | 0 | 0 | 0 |
| | 支出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 792 | 792 | 0 |
| | | 固定資産取得支出 | 0 | 965 | △ 965 |
| | | その他の施設整備等による支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 施設整備等支出計（５） | 792 | 1,757 | △ 965 |
| | 施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５） | | △ 792 | △ 1,757 | 965 |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資産取崩収入 | 0 | 6,000 | △ 6,000 |
| | | 拠点区分間繰入金収入 | 12,480 | 9,780 | 2,700 |
| | | サービス区分間繰入金収入 | 4,018 | 3,661 | 357 |
| | | その他の活動による収入計（７） | 16,498 | 19,441 | △ 2,943 |
| | 支出 | 積立資産支出 | 500 | 1,000 | △ 500 |
| | | 拠点区分間繰入金支出 | 12,480 | 9,780 | 2,700 |
| | | サービス区分間繰入金支出 | 4,018 | 3,661 | 357 |
| | | その他の活動による支出計（８） | 16,998 | 14,441 | 2,557 |
| | その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８） | | △ 500 | 5,000 | △ 5,500 |
| 予備費支出（10） | | | 100 | 50 | 50 |
| 当期資金収支差額合計（11）＝（３）＋（６）＋（９）－（10） | | | 0 | △ 1,527 | 1,527 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高（12） | 0 | | 0 |
| 当期末支払資金残高（11）＋（12） | 0 | △ 1,527 | 1,527 |

# 令和3年度事業報告

## 【新型コロナウイルス関連】

ワクチン接種が開始されたことを受け、職員が予防接種を受けられ易くするよう、新たにワクチン休暇制度を設け予防接種を促進した。また、感染状況の確認及び施設内での感染を防ぐことを目的に、地域の感染状況等の動向を見ながら、利用者及び職員に対して適時ＰＣＲ検査を実施した。引き続き消毒や換気等感染予防対策を実施してきたが、年明け以降のオミクロン株による急速な感染拡大を背景に法人内事業所でも施設内感染（クラスター）が発生し、集団活動の場における感染防止の難しさを改めて痛感した。

新型コロナウイルス感染拡大に伴うオンライン業務の普及はインターネット環境の見直しの契機にもなった。この1年でリモート会議はかなり定着したが、更なる業務環境の改善に向け新たなＩＣＴ（情報通信技術）構築の検討、準備を進めた。

## 【福祉事業活動】

法人全体では資金収支差額では１１３万円（前年度△４８７万円）、事業活動増減差額が△２２０万円（前年度５２万円）となった。障害福祉サービス等事業収入は前年度より増額したもののコロナ対応の補助金収入による増額で、運営状況は厳しくどこの事業所に於いても利用率確保が大きな課題となっている。セルプあかつき、あかつき授産所、瑞穂町福祉作業所は利用率の減少により自立支援給付費収入が大きく減少した。尚、スペース・まどかでは新規利用者が退所者を上回り利用率を上げることが出来たが、状態に波があり楽観はできない。

建替えの為の積立資産として合計１００万円を計上した。

半年に一度、職員の人事考課を行った。各職員は自己評価を行い、リーダー職員との面談を通して職務に於ける課題と目標を確認した。

研修委員会が中心となり企画し、２回の内部研修を実施した。東京都の登録講師派遣事業を活用し障害者の人権や発達障害について学習した。その他、隙間時間でも受講可能なサポーターズカレッジを導入した。導入にあたり研修委員会が毎月視聴する研修テーマを決め、全員が視聴することとし、長い間課題であった非常勤職員の研修の機会をとれるようにした。

職員1名の社会福祉主事資格取得の為の通信教育受講への支援を実施した。

当法人では、各現場に配置している虐待防止マネジャーが虐待防止の啓発等を担っている。その一環として、虐待防止の取り組みの理解促進のために、全ての職員に対して当法人の虐待防止マニュアルの読み込みを実施した。半年に1度、虐待防止チェックリストを用いて職員が支援の自己チェックをする機会を設けた。これ等の取り組みは虐待防止マネジャーによる会議にて検討され、結果と分析、課題等を会議で共有した。また、虐待防止委員会を5回開催し、法人内の課題に対する検討や虐待疑い案件の経過等について確認した。虐待の疑われる事案については行政へ報告、行政と連携しながら対応した。

本部3施設に於いて合同でリスクマネジメント委員会を毎月開催した。結果、令和3年度ヒヤリハット報告件数は22件だった。傾向としては敷地外、帰りの時間帯が多く、身体機能が低下した利用者へのリスク対応が課題となる例が出ていた。施設周辺の通所路におけるリスク対応のため通所者の通退所時に見守り支援を実施した。ここ数年の活動の停滞感から、年度途中より委員構成を見直し新たなメンバーで取り組んだ。

令和6年度のＢＣＰ策定義務化に対応するため、ＢＣＰ作成プロジェクト会議を発足、自然災害発生時ＢＣＰの見直しに加え、感染症ＢＣＰの作成に向け、検討した。

セルプあかつき、あかつき授産所、スペース・まどかの３つの事業所に於いて第三者評価を実施した。

## 【就労支援事業活動】

就労支援事業は、前年度に比べると概ね回復傾向にあるが、厳しい状況が続いた。

事業活動に於ける全体の収益は7、535万円（前年度7、859万円）となり前年度比△324万円となった。ウエス事業は原料の仕入れが困難な状況が続き、2年続けての減収となった。また、事業縮小を進めている印刷事業の他、武蔵村山市より受託している紙おむつ給付事業は配布の上限枚数が引き下げられた結果減収となった。一方で新規事業のゴルフボール仕訳作業は安定した作業量を確保できており徐々に数を増やし売り上げを上げた。

収益は落ちたものの、作業の効率化で加工高の維持を図り、法人全体の事業活動増減差額は１９３万円（前年度△２９９万円）と前年度を大きく上回った。

就労継続支援Ｂ型のあかつき授産所と瑞穂町福祉作業所における利用者平均工賃は前年度より微増した。

一般就職者数は、セルプあかつきから2名、あかつき授産所から2名、スペース・まどかから2名の合計6名となった。

## 【地域生活】

2回目の指定管理契約を結び運営開始から6年目となった瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみでは、社会参加への支援の一つとして、地域交流事業も大切にしているが、新型コロナウイルスの影響ですべて中止となった。代わりに所内で様々な催しを実施した。

瑞穂町福祉作業所では、利用者の通所手段の要であった町の福祉バスの運行が9月末に終了したことから、10月より送迎を開始した。

あかつきコロニー相談支援センターでは、困難ケースへの対応や相談件数の増加に対応するため職員体制を厚くした。計画等の作成数は501件となり前年度より67件増加した。内訳は障がい者414件、障がい児が87件だった。

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは3月末現在登録者数が初めて400名を超え407名となった。新規登録は27名だった。就職者は39名となった。瑞穂町障害者就労支援センターは、3月末現在の登録者は150名となった。新規登録者は12名だった。就職者数は20名出すことができた。両センターともに職場開拓にも力を入れており成果も出ている。一方で課題となっている就労定着にも力を入れたがコロナ禍での支援には限界もあった。就労とその継続には、基盤となる生活の安定は不可欠であるが、年々生活面の相談が増加しており、生活課題の対応への比重が大きくなっている。必要に応じて関係機関とも連携し対応した。

**【地域福祉】**

地域の自立支援協議会やこれに付随する委員会、専門部会への職員派遣、障害支援区分審査会への職員派遣を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。

瑞穂町では「福祉くらしの相談窓口」として町内社会福祉法人が地域の福祉ニーズを拾い上げる機能を担っており、当法人では町内の3事業所がこれに参加した。

地域子ども交流会はコロナ感染拡大防止の観点から中止とした。

## 資金収支計算書

（自）令和 3年 4月 1日　（至）令和 4年 3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 就労支援事業収入 | 83,140,000 | 75,346,882 | 7,793,118 |
| | | 障害福祉サービス等事業収入 | 323,591,000 | 323,548,005 | 42,995 |
| | | 生活保護事業収入 | 334,000 | 396,340 | △ 62,340 |
| | | 借入金利息補助金収入 | 16,000 | 16,191 | △ 191 |
| | | 経常経費寄附金収入 | 330,000 | 325,963 | 4,037 |
| | | 受取利息配当金収入 | 58,000 | 47,423 | 10,577 |
| | | その他の収入 | 460,000 | 461,406 | △ 1,406 |
| | | 事業活動収入計（1） | 407,929,000 | 400,142,210 | 7,786,790 |
| | 支出 | 人件費支出 | 269,419,000 | 267,231,085 | 2,187,915 |
| | | 事業費支出 | 34,983,000 | 33,995,795 | 987,205 |
| | | 事務費支出 | 30,266,000 | 27,017,614 | 3,248,386 |
| | | 就労支援事業支出 | 77,862,000 | 72,991,635 | 4,870,365 |
| | | 支払利息支出 | 19,000 | 19,119 | △ 119 |
| | | その他の支出 | 100,000 | 249,138 | △ 149,138 |
| | | 事業活動支出計（2） | 412,649,000 | 401,504,386 | 11,144,614 |
| | 事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2） | | △ 4,720,000 | △ 1,362,176 | △ 3,357,824 |
| 施設整備等による収支 | 収入 | その他の施設整備等による収入 | | | |
| | | 施設整備等収入計（4） | | | |
| | 支出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 792,000 | 792,000 | |
| | | 固定資産取得支出 | 965,000 | 1,670,240 | △ 705,240 |
| | | その他の施設整備等による支出 | | 48,422 | △ 48,422 |
| | | 施設整備等支出計（5） | 1,757,000 | 2,510,662 | △ 753,662 |
| | 施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5） | | △ 1,757,000 | △ 2,510,662 | 753,662 |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資産取崩収入 | 6,000,000 | 6,000,000 | |
| | | その他の活動収入計（7） | 6,000,000 | 6,000,000 | |
| | 支出 | 積立資産支出 | 1,000,000 | 1,000,000 | |
| | | その他の活動支出計（8） | 1,000,000 | 1,000,000 | |
| | その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8） | | 5,000,000 | 5,000,000 | |
| 予備費支出（10） | | | 50,000 | | 50,000 |
| 当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10） | | | △ 1,527,000 | 1,127,162 | △ 2,654,162 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高（12） | | 118,628,697 | △ 118,628,697 |
| 当期末支払資金残高（11）＋（12） | △ 1,527,000 | 119,755,859 | △ 121,282,859 |

# 事業活動計算書

（自）令和 3年 4月 1日　（至）令和 4年 3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 当年度決算 | 前年度決算 | 増減 |
|---|---|---|---|---|---|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 就労支援事業収益 | 75,346,882 | 78,588,629 | △ 3,241,747 |
| | | 障害福祉サービス等事業収益 | 323,548,005 | 320,898,333 | 2,649,672 |
| | | 生活保護事業収益 | 396,340 | 294,960 | 101,380 |
| | | その他の事業収益 | | 524,700 | △ 524,700 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 325,963 | 213,270 | 112,693 |
| | | サービス活動収益計 (1) | 399,617,190 | 400,519,892 | △ 902,702 |
| | 費用 | 人件費 | 266,051,085 | 263,988,927 | 2,062,158 |
| | | 事業費 | 33,995,795 | 27,192,547 | 6,803,248 |
| | | 事務費 | 27,017,614 | 24,326,059 | 2,691,555 |
| | | 就労支援事業費用 | 73,413,048 | 81,581,371 | △ 8,168,323 |
| | | 減価償却費 | 5,547,161 | 5,403,583 | 143,578 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △ 3,955,215 | △ 5,095,734 | 1,140,519 |
| | | サービス活動費用計 (2) | 402,069,488 | 397,396,753 | 4,672,735 |
| | サービス活動増減差額 (3)=(1)－(2) | | △ 2,452,298 | 3,123,139 | △ 5,575,437 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 借入金利息補助金収益 | 16,191 | 22,563 | △ 6,372 |
| | | 受取利息配当金収益 | 47,423 | 5,786 | 41,637 |
| | | その他のサービス活動外収益 | 461,406 | 507,451 | △ 46,045 |
| | | サービス活動外収益計 (4) | 525,020 | 535,800 | △ 10,780 |
| | 費用 | 支払利息 | 19,119 | 26,643 | △ 7,524 |
| | | その他のサービス活動外費用 | 249,138 | 460,788 | △ 211,650 |
| | | サービス活動外費用計 (5) | 268,257 | 487,431 | △ 219,174 |
| | サービス活動外増減差額 (6)=(4)－(5) | | 256,763 | 48,369 | 208,394 |
| 経常増減差額 (7)=(3)+(6) | | | △ 2,195,535 | 3,171,508 | △ 5,367,043 |
| 特別増減の部 | 収益 | 施設整備等補助金収益 | | | |
| | | 特別収益計 (8) | | | |
| | 費用 | 固定資産売却損・処分損 | 6 | 374,001 | △ 373,995 |
| | | 国庫補助金等特別積立金積立額 | | 2,279,000 | △ 2,279,000 |
| | | 特別費用計 (9) | 6 | 2,653,001 | △ 2,652,995 |
| | 特別増減差額 (10)=(8)－(9) | | △ 6 | △ 2,653,001 | 2,652,995 |
| 当期活動増減差額 (11)=(7)+(10) | | | △ 2,195,541 | 518,507 | △ 2,714,048 |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額 (12) | | 47,579,387 | 52,060,880 | △ 4,481,493 |
| | 当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12) | | 45,383,846 | 52,579,387 | △ 7,195,541 |
| | 基本金取崩額 (14) | | | | |
| | その他の積立金取崩額 (15) | | 6,000,000 | | 6,000,000 |
| | その他の積立金積立額 (16) | | 1,000,000 | 5,000,000 | △ 4,000,000 |
| | | | | | |
| | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16) | | 50,383,846 | 47,579,387 | 2,804,459 |

# 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

（単位：円）

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 152,651,682 | 154,046,010 | △ 1,394,328 | 流動負債 | 41,805,272 | 45,466,301 | △ 3,661,029 |
| 現金預金 | 108,257,794 | 111,967,026 | △ 3,709,232 | 事業未払金 | 8,825,855 | 10,739,184 | △ 1,913,329 |
| 事業未収金 | 7,577,867 | 6,855,335 | 722,532 | その他の未払金 | 22,725,157 | 23,269,703 | △ 544,546 |
| 未収金 | 35,196,306 | 33,373,388 | 1,822,918 | 職員預り金 | 351,474 | 374,628 | △ -23,154 |
| 商品・製品 | 577,315 | 552,785 | 24,530 | 賞与引当金 | 11,640,000 | 12,820,000 | △ 1,180,000 |
| 原材料 | 2,153,236 | 2,218,227 | △ 64,991 | その他の流動負債 | △ 1,737,214 | △ 1,737,214 | |
| 立替金 | 583,255 | 658,955 | △ 75,700 | | | | |
| 前払費用 | 13,123 | 127,508 | △ 114,385 | | | | |
| 仮払金 | 30,000 | 30,000 | | | | | |
| その他の流動資産 | △ 1,737,214 | △ 1,737,214 | | 固定負債 | 1,584,000 | 2,376,000 | △ 792,000 |
| 固定資産 | 259,818,020 | 269,027,477 | △ 9,209,457 | 設備資金借入金 | 1,584,000 | 2,376,000 | △ -792,000 |
| 基本財産 | 194,511,961 | 199,098,443 | △ 4,586,482 | 負債の部合計 | 43,389,272 | 47,842,301 | △ 4,453,029 |
| 土地 | 92,920,862 | 92,920,862 | | 純資産の部 | | | |
| 建物 | 101,291,099 | 105,877,581 | △ 4,586,482 | 基本金 | 156,178,608 | 156,178,608 | |
| 基本特定積立資産 | 300,000 | 300,000 | | 基本金 | 156,178,608 | 156,178,608 | |
| その他の固定資産 | 65,306,059 | 69,929,034 | △ 4,622,975 | 国庫補助金等特別積立金 | 103,726,228 | 107,681,443 | △ 3,955,215 |
| 構築物 | 2 | 2 | | 国庫補助金等特別積立金 | 103,726,228 | 107,681,443 | △ 3,955,215 |
| 機械及び装置 | 2,216,468 | 2,379,833 | △ 163,365 | その他の積立金 | 58,791,748 | 63,791,748 | △ 5,000,000 |
| 車輌運搬具 | 4 | 4 | | 備品購入積立金 | 10,184,337 | 13,184,337 | △ 3,000,000 |
| 器具及び備品 | 4,052,118 | 3,879,733 | 172,385 | 修繕積立預金 | 30,838,886 | 33,838,886 | △ 3,000,000 |
| 権利 | 177,714 | 177,714 | | 人件費積立金 | 2,468,525 | 2,468,525 | |
| | 319,583 | | 319,583 | 施設整備積立金 | 15,000,000 | 14,000,000 | 1,000,000 |
| 備品購入積立資産 | 10,184,337 | 13,184,337 | △ 3,000,000 | 基本特定積立金 | 300,000 | 300,000 | |
| 修繕積立資産 | 30,838,886 | 33,838,886 | △ 3,000,000 | 次期繰越活動増減差額 | 50,383,846 | 47,579,387 | 2,804,459 |
| 人件費積立資産 | 2,468,525 | 2,468,525 | | 次期繰越活動増減差額 | 50,383,846 | 47,579,387 | 2,804,459 |
| 施設整備積立資産 | 15,000,000 | 14,000,000 | 1,000,000 | （うち当期活動増減差額） | △ 2,195,541 | 518,507 | △ 2,714,048 |
| 長期前払費用 | 48,422 | | 48,422 | 純資産の部合計 | 369,080,430 | 375,231,186 | △ 6,150,756 |
| 資産の部合計 | 412,469,702 | 423,073,487 | △ 10,603,785 | 負債及び純資産の部合計 | 412,469,702 | 423,073,487 | △ 10,603,785 |

# 財　産　目　録

令和４年３月31日 現在

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 取得年度 | 使用目的等 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 貸借対照表価額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | | | | |
| 1　流動資産 | | | | | | |
| 現金預金 | | — | 運転資金として | — | — | 108,257,794 |
| 事業未収金 | | — | 就労支援事業収入未収金 | — | — | 7,577,867 |
| 未収金 | | — | ３月分　訓練等給付費 | — | — | 35,196,306 |
| 商品・製品 | | — | 就労支援事業商品棚卸し | — | — | 577,315 |
| 原材料 | | — | 就労支援事業材料棚卸し | — | — | 2,153,236 |
| 立替金 | | — | ３月分　水道光熱費　他 | — | — | 583,255 |
| 前払費用 | | — | 保険料 | — | — | 13,123 |
| 仮払金 | | — | ３月分　諸経費 | — | — | 30,000 |
| その他の流動資産 | | — | | — | — | △ 1,737,214 |
| 流動資産合計 | | | | | | 152,651,682 |
| 2　固定資産 | | | | | | |
| (1) 基本財産 | | | | | | |
| 土地 | 法人本部拠点４ | | 第二種社会福祉事業、公益事業に使用 | 92,920,862 | | 92,920,862 |
| 建物 | 法人本部拠点７、あかつき授産所拠点１ | | 第二種社会福祉事業、公益事業に使用 | 385,993,499 | 284,702,400 | 101,291,099 |
| 基本特定積立資産 | | | 基本財産として保有する | — | — | 300,000 |
| 基本財産合計 | | | | | | 194,511,961 |
| (2) その他の固定資産 | | | | | | |
| 構築物 | 避難用ブリッジ あかつき授産所拠点 | — | 第二種社会福祉事業である あかつき授産所に使用 | 675,000 | 674,998 | 2 |
| 機械及び装置 | 四色機等　計35点 | — | 事業運営に使用 | 104,230,238 | 102,013,770 | 2,216,468 |
| 車輌運搬具 | 計４台 | — | 利用者送迎、就労支援事業用 | 6,426,330 | 6,426,326 | 4 |
| 器具及び備品 | ＰＣ、空調設備等 計63点 | — | 事業運営に使用 | 24,691,941 | 20,639,823 | 4,052,118 |
| 権利 | 電話加入権 | — | 事業運営に使用 | — | — | 177,714 |
| ソフトウェア | | | 事業運営に使用 | 375,980 | 56,397 | 319,583 |
| 備品購入積立資産 | りそな銀行　村山支店 | — | 器具・機械等の購入・交換の目的のための積立 | — | — | 10,184,337 |
| 修繕積立資産 | りそな銀行　村山支店 多摩信用金庫残堀店 | — | 器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立 | — | — | 30,838,886 |
| 人件費積立資産 | 多摩信用金庫 残堀支店 | — | 給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立 | — | — | 2,468,525 |
| 施設整備積立資産 | りそな銀行　村山支店 | — | 将来における建物建替えの目的のための積立 | — | — | 15,000,000 |
| 長期前払費用 | | — | 保険料 | — | — | 48,422 |
| その他の固定資産合計 | | | | | | 65,306,059 |
| 固定資産合計 | | | | | | 259,818,020 |
| 資産合計 | | | | | | 412,469,702 |
| Ⅱ　負債の部 | | | | | | |
| 1　流動負債 | | | | | | |
| 事業未払金 | | — | ３月分　水道光熱費　他 | — | — | 8,825,855 |
| その他の未払金 | | — | ３月分　水道光熱費　他 | — | — | 22,725,157 |
| 職員預り金 | | — | ３月分　社会保険料　他 | — | — | 351,474 |
| 賞与引当金 | | — | | — | — | 11,640,000 |
| その他の流動負債 | | — | | — | — | △ 1,737,214 |
| 流動負債合計 | | | | | | 41,805,272 |
| 2　固定負債 | | | | | | |
| 設備資金借入金 | 独立行政法人福祉医療機構 | — | | — | — | 1,584,000 |
| 固定負債合計 | | | | | | 1,584,000 |
| 負債合計 | | | | | | 43,389,272 |
| 差引純資産 | | | | | | 369,080,430 |

# 虐待防止と身体拘束の取り組みについて

常務理事　髙橋　毅

障害者福祉では令和4年度より虐待防止及び身体拘束への取り組みが制度上義務化となり、各法人においても最重要課題として取り組みが進んでいることと思います。

虐待防止への重点的な取り組みが障害者福祉において進みだしたのは10年程前からであり、あかつきコロニーにおいても平成25年4月に虐待防止マニュアル第1版を作成し、それに伴って虐待防止委員会、虐待防止マネージャー会議、虐待防止チェックリストの導入等の取り組みが行われています。

あかつきコロニーでは就労支援サービスを幅広く行っていますが、利用者に対して行っている指導という行為が、注意を払わないと虐待に繋がる危険性があります。そこの線引きをQ&A形式で色んな事例を取り上げ、職員の利用者支援のサポートブックとして活用している点が、当法人のマニュアルの特徴だと思います。

日々障害者支援を行っていると、判断に迷うケースが起きることもあり、虐待防止マネージャー会議で対応について検討し、その事例をQ&Aに追加していく様にしています。

事例を一つ上げると、〝理解力や判断力の難しい利用者が説明したことに対して、「分かりました」と返答した時に、「本当に分かりましたか?」と言ってしまった。心理的虐待に該当するかどうか〟という問いに対して、「確認作業は必要なことなので虐待に相当するとはいえません。ただし威圧的な口調で言ったり、子供扱いは抵触する可能性はあります。また理解してなくても分かったという方や、オウム返し等の障害特性もあることにも考慮が必要です。というQ&Aを載せています。

虐待防止マネージャー会議は、各部署より職員が参加し、サビ管を中心に活動をしています。虐待防止マニュアル管理の他、チェクリストの実施と結果からの啓発活動、所内研修の実施等を行い、職員の虐待防止への意識向上や啓発等を図っています。

一方、虐待防止委員会は管理職員やサビ管職員等で構成され、虐待防止の取り組み等に関する事業計画や事業報告、マネージャー会議からの報告、虐待案件に対する対応等を行っていますが、年々虐待防止委員会の開催頻度が多くなっている状況があります。これは施設内で虐待案件が発生しているということではなく、あかつきコロニー自体が地域福祉への関わりが広く、深くなっていることによります。

あかつきコロニーは現在、武蔵村山市と瑞穂町において5つの施設事業と2つの障害者就労支援センター、相談支援センターを一つ行っていますが、施設利用者は総勢で約150名に対し、障害者就労支援センターと相談支援センターで700名程の地域在住の障がい者支援を行っていて、虐待に関わるケースが多く起きていることに起因しています。

これらの虐待案件は、福祉事務所や関係機関等で構成される関係者会議で対応していますが、難しい案件については、あかつきコロニー内の虐待防止委員会に困難事例として報告され、案件にたいする一意見として協議しています。(※虐待防止委員会には個人が特定されないよう配慮され、また資料も会議後には破棄しています。)

身体拘束については前年度下半期から取り組みについて検討を始め、今年度より身体拘束適正化検討委員会の立上げ、指針や各種記録様式の整備、研修計画等を協議し、事例検討を行っています。

あかつきコロニーは全て通所施設であり、就労支援を中心に行っているため、ベッド等に拘束するケースは基本ありませんが、安全面から身体をやむを得ず押さえるケースや、行動を制限するケース等は事例としてあります。また重度心身障害者が利用する施設もあるため、車いすベルトやテーブル等で身体を固定しながら利用している方もいるので、再度支援計画の確認や本人及び保護者への確認等を行っているところです。

9月には職員全員を対象としたオンライン形式による「身体拘束について」の所内研修を、講師を招いて実施していきます。

あかつきコロニーではその他、職員研修の一つのツールとして、社会福祉専門の動画配信による講座研修を取り入れています。一講座15分程度の講座ですが、社会福祉関係のあらゆる講座が用意されており、毎月テーマを決め、非常勤職員も含めて視聴を行っています。

動画配信講座は年間契約が必要で予算もかかっていますが、いつでも学びたい講座が視聴できるので、特に新人職員や非常勤職員には知識習得として、中堅以上の職員には自身の行っている支援の振り返りとして有効なツールになっています。

あかつきコロニーでは今日まで、案件としての虐待は発生していませんが、グレーゾーンは存在しており、特に利用者に対する呼称や言葉遣いに課題が残っています。

以前から比べると大分チェックリストの件数も減少し、職員全体の意識の向上として成果が出ていますが、事業所によっては格差もあり、まだまだ取り組みが必要と感じています。チェクリストも毎回様式を精査し、より課題を拾える様取り組んでいます。

課題が無くなることはあり得ないことと認識しており、如何に課題を拾えていけるかが重要だと考えています。

# 新人紹介

■趣味はバイクで近場ツーリングとアニメなどです。ゴム管に携わることが多く、達成感のある作業にやりがいを感じています。通所する度に向上心が芽生えるようになったことで、更にたくさんの作業をこなせるようになるのが目標としております。

**スペース・まどか**
**木村　優輝**

■歳は若干上ですが、皆さんと仲良く楽しく過ごしていきたいと思っています。趣味はテレビ、ラジオ、音楽鑑賞、カラオケ、買い物等です。皆さんとは作業・休憩の中で会話を楽しみ、楽しく過ごせたらと思っています。よろしくお願いします。

**スペース・まどか**
**橋本　慎**

■６月に入所しました。目標は就職につながるように頑張ります。趣味は、絵をかいたり音楽を聴いたり、お菓子を作ることです。

**スペース・まどか**
**天川谷　京子**

■２月より入りました。頑張ります。よろしくお願いします。

**スペース・まどか**
**齊藤　博幸**

■脳血管の疾患によって就労が難しい状態を町の就労支援センターにご相談させていただいたご縁から、リハビリを経てさくらに来ることができました。新しい仲間と職員の皆様に助けられて機能回復に努め、輪を広げ繋げていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

**瑞穂町福祉作業所さくら**
**柴田　祐生子**

■令和４年３月より送迎ドライバーとして勤務しています。
今までの経験を活かし、スタッフの皆様と協力し「安全・安心な運転」を心がけて参ります。皆様よろしくお願いいたします。

**瑞穂町心身障害者（児）**
**福祉センターあゆみ**
**長沼　司**

■ my name is joshua aundray, my hobbies are drawing art, watching videos, playing video games, cooking, and my house chores are cleaning, buying groceries, taking care of my siblings
私の名前は joshua aundray（ジョシュア アンドレイ）です。趣味は絵を描くこと、ビデオを見ること、ビデオ ゲームをすること、料理をすることです。家事は掃除、食料品の購入、兄弟の世話をすることです。

**あかつき授産所作業部一課**
**ジョシュア アンドレイ**

**みなさんよろしくお願いしま～す!!**

## 役員・評議員

**理事**

理事長　鈴木　賢一
常務理事　高橋　毅
湯澤　弘
永井　眞
熊谷　昌博
五十嵐　崇

**監事**

岩瀬　成朋
鈴木　智也

**評議員**

小峯　邦明
浅川　勤
川﨑　忠正
栗原　康明
岩瀬　香世
赤澤　正補
古賀　博紀

## 主な事柄

**1月**

4 PCR検査（さくら 5日迄）
5 新年会（法人施設）
市長挨拶（高橋 永井 遠藤）
6 PCR検査（法人施設 7日迄）
事故調査委員会
11 電気設備点検（あゆみ）
破傷風予防接種（さくら）
13 研修委員会
14 BCPプロジェクト（感染症）
17 事故調査委員会
20 床清掃（法人施設）
支援システムデモ
25 瑞穂町事故報告書提出
28 地震避難訓練（あゆみ）

**2月**

4 建築定期検査（法人施設）
14 支援システムデモ
20 床清掃（さくら・あゆみ）
21 PCR検査（あゆみ 25日迄）
28 地震避難訓練（あゆみ）

**3月**

15 防災設備点検（法人施設 16日迄）
17 PCR検査（法人施設 18日迄）
22 地震避難訓練（さくら）
PCR検査（あゆみ 24日迄）
23 虐待防止マネジャー会議
24 支援システム会議

**4月**

25 消防設備点検（あゆみ）
理事会
30 地震避難訓練（法人施設）
15 虐待防止・身体拘束適正化検討委員会
消防設備点検（さくら）
16 地震避難訓練（あゆみ）
26 BCPプロジェクト（感染症）
保護者会（あゆみタイムケア）
27 身体拘束適正化検討委員会
29 床清掃（あゆみ）
28 保護者会（あゆみ 地活）

**5月**

3 電気設備点検（あゆみ）
9 PCR検査（さくら 10日迄）
13 町指定管理評価前ヒヤリング（さくら）
16 町指定管理評価前ヒヤリング（あゆみ）
19 床清掃（法人施設）
21 春季レク（法人施設）
23 研修委員会
24 PCR検査（あゆみ 26日迄）
26 監事監査
31 春季レク（さくら）

**6月**

1 理事会
6 PCR検査（さくら 7日迄）
7 身体拘束適正化検討委員会
9 ISO審査（授産所一課 10日迄）
11 電気設備点検（法人施設）
15 BCPプロジェクト（自然災害）
18 地震避難訓練（あゆみ 地活）
19 瑞穂町ふれあい運動会（さくら・あゆみ地活）
20 BCPプロジェクト（感染症）
21 評議員会
PCR検査（あゆみ 23日迄）
23 PCR検査（法人施設 24日迄）
27 PCR検査（さくら 28日迄）
28 地震避難訓練（あゆみ タイムケア）
29 火災避難訓練（法人施設）
火災避難訓練（さくら）

**7月**

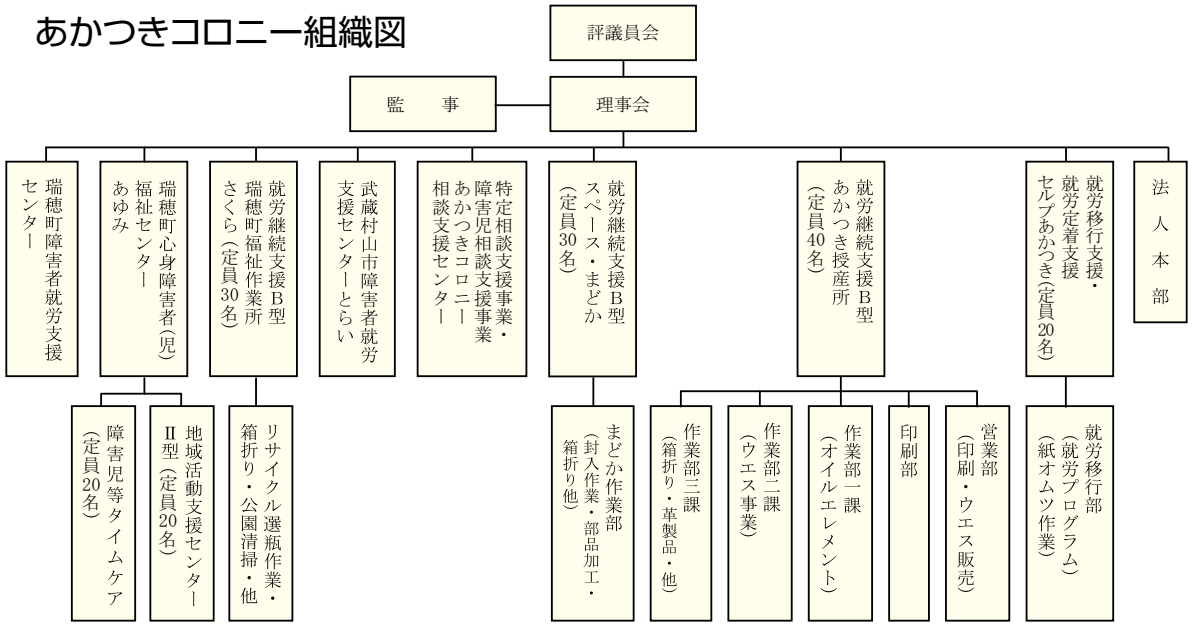
11 虐待防止マネジャー会議
21 床清掃（法人施設）
25 虐待防止委員会
29 ボイラー点検（法人施設）
30 水質検査（法人施設）
31 床清掃（あゆみ）

## 出張研修

**1月**

12 サビ管更新研修（遠藤・小俣）
7 精神業務連絡会（冨田）
13 初任者研修（小林 14日迄）
14 ゼンコロ教育研修部会（遠藤）

## あかつきコロニー組織図



17 ゼンコロ月例ミーティング（遠藤）
20 初任者研修（大庭　21日迄）
26 安全運転管理者講習（永井）
27 武蔵村山市就労支援部会（冨田・小俣・神山）
28 ゼンコロ運営委員会（遠藤）

**2月**

1 安全運転管理者研修（五十嵐）
2 サビ管更新研修（五十嵐）
初任者研修（佐渡　3日迄）
3 ゼンコロスキルアップ研修
サビ管更新研修（小俣）
7 瑞穂町就労部会（西出）
8 社福法人連絡会（五十嵐・西出）
9 サビ管更新研修（遠藤）
14 瑞穂町自立支援協議（戸村・西出）
15 精神業務連絡会（藤澤・冨田）
18 WJ理事会（高橋）
内部研修会
21 ゼンコロ月例会（遠藤）
内部研修会
相談支援主任研修（神山　25日迄）
24 東京都連絡会（冨田）

**3月**

1 相談支援主任研修（神山）
相談支援主任研修（神山　4日迄）
3 西多摩就労連絡会（西出）
9 高次脳機能地域懇親会（日野）
11 精神業務連絡会（藤澤・冨田）
16 武蔵村山市就労支援部会（冨田・神山）
精神就労定着連絡会（日野）
17 社福法人連絡部会（日野）
22 コミュニティバス会議（戸村）
24 就労ネット会議（小林）

**4月**

8 精神業務連絡会（藤澤・冨田）
13 ゼンコロ運営委員会（遠藤）
AED講習（山田）
18 ゼンコロ月例会（遠藤）
20 WJ理事会（高橋）
28 就労ネット（茂木・小林）

**5月**

6 プラザ安全衛生会議（戸村）
12 WJ理事会（高橋）
13 精神業務連絡会（藤澤・冨田）
17 武蔵村山市相談支援部会（神山）
18 武蔵村山市就労支援部会（冨田・利根川・小俣・神山）
23 ゼンコロ月例会（遠藤）
24 メンタルヘルス研修（永井・田中隆）
25 瑞穂町自立支援協議会（西出）
26 就労ネット（茂木・小林）
都施策行政説明（永井）
27 JD総会（高橋）

**6月**

7 プラザ安全衛生会議（戸村）
15 武蔵村山市就労支援部会（冨田・利根川・小俣・神山）
羽村特支運営協議会（西出）
17 精神保健福祉研修（橋本）
精神業務連絡会（藤澤・冨田）
21 武蔵村山市相談支援部会（神山）
22 栄養管理講習会（大月）
23 就労ネット（茂木・小林）
27 瑞穂町就労部会（戸村・西出）
28 プラザ玉掛講習会（松谷・本橋）
29 精神保健福祉研修（橋本）
30 雇用連絡会議（冨田）

**7月**

8 精神業務連絡会（藤澤・冨田）
19 社会福祉主事資格スクーリング（松本　23日迄）
22 任意の会（日野）
26 武蔵村山市相談支援部会（神山）
武蔵村山市就労支援部会（冨田・利根川・小俣・神山）
27 西多摩就労連絡会（西出）
武蔵村山市自立支援協議会書面開催（高橋・冨田）
28 労働局連絡会（冨田）
就労ネット（茂木・小林）

## 入所・退所

### 入所

1月 橋本　慎（まどか）
2月 原田　智功（授産所）
木村　優輝（まどか）
齊藤　博幸（まどか）
3月 長沼　司（あゆみ）
森田　智美（授産所）
4月 柴田祐生子（さくら）
5月 天川谷京子（まどか）
7月 VIERNES JOSHUA AUNDRAY（授産所）

### 退所

1月 朝倉　温子（あゆみ）
原田　智功（まどか）
大橋　美子（授産所）
3月 森田　智美（さくら）
五十嵐柊哉（セルプ）
4月 青木　千瀬（相談）
5月 田鍋　宜宏（セルプ）
師岡　孝憲（まどか）
6月 細谷　政男（さくら）

## 編集後記

ここ数年、私たちを取り巻く環境は大きな変化に見舞われています。毎年のように襲ってくる自然災害に、感染症の流行、ロシアによるウクライナ侵攻…。直接的に間接的に私達はその影響を心身に受けています。次々に困難が降りかかってくるものだから、もうここまでくると人や社会を分断させようとするなにか見えない大きな力でも働いているのではないかと穿っている始末です。

そんな中で、日常のほんのささやかな出来事が、心を癒してくれるものです。

今年、法人施設に営巣したツバメの雛達が無事に巣立ちました。それも同じ巣で2度も。ツバメと言えば幸福の象徴です。ツバメが巣作りした地は自然災害に見舞われないとも言われているそうです。また、商売繁盛するとも言われ、法人にも幸福が訪れるのではないか、今後もあわよくば毎年来てくれないか…などと思っています。癒しなどと言いながら何だ結局はご利益目当てか…ハイその通りです。法人を取り巻く皆様の幸福を願って。

（E・M）